

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
長野駅周辺地区

平成 23年 10月

長野県長野市

# 1.数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み 確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標 1	新規住宅着工件数	件	0	110	120	確定 見込み	あり なし	134	H23年4月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	区画整理による利便性の高い居住環境を整備した結果、住宅建設が促進されている。
指標 2	地区内商店街歩行者数	人/日	3,197	3,100	2,872	確定 見込み	あり なし	2,782	H23年7月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	商店街の歩行者優先型道路の整備や土地区画整理の順調な進捗により歩行者数の減少傾向が緩和されている。
指標 3	消防・災害車両活動可能地域率	%	34.0	65.0	53.0	確定 見込み	あり なし	58.8	H23年4月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業の進捗とともに、消防・災害車両の進入可能な道路が、着実に整備されている。
その他の数値指標 1	消火活動困難住宅の減少	件	427.0	/	175.0	確定 見込み	/	143	H23年4月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	安全 安心を目的とする基盤整備の促進により、狭小道路に接する家屋が減少している。

事後評価シート 様式 2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

## 2.今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策 (事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
成果を持続させるために 行う方策	若年層の定着と世代間交流の促進	・地区商店街によるユメリアまつり、東口フェスティバルの継続実施	・イベントの実施により、世代間交流はもとより地区外住民との交流の場となり、商店街のPRとなっている。	事業完了後においても住民主体による世代間交流する場を設ける必要がある。
改善策 まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題 新たな課題への対応策 その他 必要な改善策	防災上支障となる狭小道路の解消	整備計画に基づき、計画的に都市計画道路駅南幹線のほか区画道路の整備を実施。	公共施設整備率が58.8%となり、消火活動が困難な住宅も従前値の33%まで解消された。	・早期の事業完了
	駐車場として利用されている低利用地の解消	土地利用の高度化を図るため、積極的に土地区画整理事業を実施	仮駐車場として利用されていた箇所が、新規住宅建設により減少している。	
	防災上支障となる老朽密集住宅等の解消	整備計画に基づき、計画的に都市計画道路駅南幹線のほか区画道路の整備に併せて、宅地の整備を実施。	老朽化した建物の移転が進捗し、宅地整備が進むとともに、再築住宅建設が促進された。	・早期の事業完了
	公園、緑道等地域アメニティの向上	・自然石を使用した計湯川の整備 ・長野駅東口まちづくり対策連絡協議会の部会において、公園整備手法等のワークショップの準備を開始	・景観に配慮した川の整備により、高質空間が形成された ・協働によるまちづくりの意識が向上した	・質の高い都市空間の創出を目的とする植栽や水路の整備方法、維持管理について、住民及び関係機関と更なる協議が必要である。 ・住民主体の管理組織を創設する必要がある。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項